

開催日時 令和5年1月31日（火曜日） 午前10時から午前11時30分まで

開催場所 大手公民館 大会議室

出席者（敬称略）

委員 降旗都子（委員長）、丸山宗志（副委員長）、春日孝介、一ノ瀬知佐子、永塚 博、
鳥羽弘幸、山下京子、塩島くるみ、百瀬 壽、倉澤 聡、櫻井美智代、赤羽 勝、
田村貴以子、中島麻衣

（欠席：平林 洸）

事務局 地域づくり課 地域づくり課長 廣田圭男

地域づくり担当 係長 床尾拓哉、主事 太田晴香

市民活動推進担当 主事 小山雄聖

1 開会

（降旗委員長）

2 あいさつ

（降旗委員長）

3 自己紹介

※ 第2回委員会欠席委員による自己紹介

4 前回議事録の確認

（降旗委員長）

・ 事前に修正等の申し出なし。このまま確定としたい。

<意見等>

・ なし

→確定版を市公式ホームページに掲載

5 会議事項（議長 降旗委員長）

(1) 今後の進め方について

（降旗委員長）

- ・ 前回の意見交換で、各グループ共通してモデル地区への関心が示されていた。
- ・ そこで今後の進め方として、大きなテーマに「モデル地区の検証」を据え、その中から2～3の課題を抽出し、各グループで課題を検討していくという方法としたい。

（事務局 太田）

※ 資料1P「第6期松本市地域づくり市民委員会今後のスケジュール」に基づき、
進め方（案）について説明

<質問・意見等>

・ なし

(2) モデル地区の概要及び取組みについて

（事務局 床尾）

※ 資料2～5P「地域づくりセンター強化モデル事業について」に基づき説明

<質問・意見等>

(櫻井委員)

- ・ センター長補佐は市職員か、また任期は3年なのか。
→ (事務局 床尾) センター長補佐は市職員。モデル事業の3年間は確実に配置されるが、その後の体制については未定

(春日委員)

- ・ モデル事業は行政が一方向的に始めたこと。地区がどう捉えているかを掘り下げ、一方的な押し付けにならないようにしてほしい。

(降旗委員長)

- ・ 令和5年度にもモデル地区が増えるのか。
→ (事務局 床尾) 令和5年度に新しくモデル地区を設定する予定はない。

(3) 各地区への聞き取りに向けての意見交換

- ※ 「第2回委員会時のグループワーク結果」及び「モデル地区の概要及び取組み」を踏まえながら、第4回以降の聞き取りにおいて質問したいことの洗い出し作業を実施

<各グループで挙げられた質問事項抜粋>

<p>Aグループ 春日委員 永塚委員 倉澤委員 赤羽委員 中島委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル地区になって変わったことはあるか。 ・ 重点課題の設定はどのように行ったか。 ・ 提案事業は継続性のあるものなのか。 ・ モデル事業を機に新たに始まったものは何か。 ・ 町会との棲み分けをどう考えるか。 ・ 事業をやっている人たちのモチベーションはどこからきているか。 ・ どういったところに学びの要素があるか。
<p>Bグループ 一ノ瀬委員 鳥羽委員 塩島委員 田村委員 丸山副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交付金の使い道はセンターが確認しているのか。 ・ 地区ごとで交付額に差があるのはなぜか。 ・ 社協の見守り安心ネットワークやささえあいマップとの連携をどう考えているのか。 ・ 各大学とどのように連携しているか。 ・ 実際に若い人がどれくらい来ているのか。
<p>Cグループ 山下委員 百瀬委員 降旗委員長 櫻井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重点課題の設定はどのように行ったか。 ・ 活動をしたい人への立ち上げ支援をどのように行ったか。 ・ 提案事業はどのように選定されたのか。 ・ どのような経過で学生と関わるようになったか。 ・ モデル地区や重点課題の事前周知をどのくらいの期間行ったか。 ・ センター長とセンター長補佐の役割の違いはなにか。

(4) その他

(事務局 太田)

- ・ 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第38回公民館研究集会・令和4年度地域づくり市民活動研究集会～」開催について
- ・ 今後のスケジュールについて

(以上)